

大学で運動部の活躍を報じる新聞「立命スポーツ」を発行。会場で選手を取材するほか、パソコンで紙面をレイアウトします。

よく読むのは地方版。特に、家の近くのグルメや、お祭りなどのレジャーの情報は重宝しています。ネットの場合、わざわざ調べないといけないし、新聞ほど正確で詳しい内容は得られませんから。

要望もあります。スポー



古賀凌也さん

通学の電車で欠かさず読む

ツ紙と違い、一般紙は見出しの文字がモノクロ。写真はカラーなのに、もったいない。運動面では多くの記事が結果しか載っていない。プレートの裏話が盛り込まれているスポーツ紙と比べると、やや物足りません。

スマートフォンをいじるのが好きではなく、自宅のある兵庫から滋賀のキャンパスへ通う電車内で新聞を開きます。その日の話題が分かる一面は欠かさず読みます。政治や経済の話題は、ハードルが少し高いかな。

電車内で開くには少し大きいけれど、小さくして情報量が減ってもいけないし、悩ましいですね。でも、開く時の手間が省ける作りの新聞があればいいな。

(立命館大理工学部二年)